

もりやグリーンインフラ推進協議会(守谷市)

○市の有する水・緑といった自然資源(≒グリーンインフラ)をバックグラウンドとした都市の魅力向上&スマートシティ化により、持続可能な住みよいリバブルシティの実現

■ 対象区域のビジョン

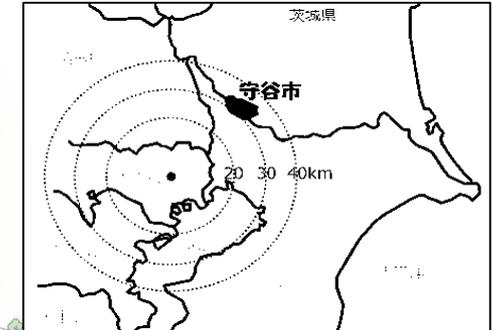
“緑きらめき 人が輝く 絆つなぐまち もりや”

⇒GI & ICTスマートシティによる持続可能なリバブルシティ

- 自然資本を活用した都市間競争力強化
- Morinfo等を活用したスマートシティ化とEBPMのマネジメント
- 民間資金を活用したGIまちづくり
- 守谷の豊かな自然を将来につなぐ持続可能都市



■ 対象区域(守谷市)



■ 対象区域の課題

① 住民の高齢化

早くに整備された地区は、高齢化が進みつつある。今後の深刻化が懸念。

② 子育て環境の充実

新たに若い世代を招くためには、子育て環境の充実が不可欠。

③ 都市間競争力強化

加速する人口減少の中、TX沿線市の中でも、独自の魅力創出が必要。

■ モデル事業の取組み内容

⑤ スマート都市農業拠点の形成と農による地域コミュニティの活性化

- ・スマート農業拠点化の検討
- ・ICT協働農園によるコミュニティ活性化検討

【都市農業】 【観光】

③ 里山谷津のGI機能の向上 (守谷 野鳥のみち)

- ・市街地に残る里山のGIとしての持続的な活用

【環境】 【観光】 【健康・医療】

① グリーン・スローモビリティによる市内周遊性の向上

- ・市内要所を結ぶグリスロの導入検討

【交通】 【観光】 【健康・医療】

② 未利用地を中心とした賑わい創出 (守谷駅東口・みずき野地区)

- ・駅前空地や商業施設跡地等の未利用地(市有地)を拠点とした、新たな賑わい創出

【観光】 【健康・医療】

全体：EBPMによる都市マネジメント

⑦ 守谷GI指標づくりとICTの活用によるEBPM

- ・市民生活総合支援アプリ「Morinfo」の活用・拡張等による協働まちづくりとEBPMのマネジメント



④ 遊水地のGI公園整備 (利根川・稲戸井遊水地)

- ・利根川河川敷のGI公園としての整備による多機能化

【環境】 【防災】 【観光】



もりやグリーンインフラ推進協議会(守谷市)

■ データ利活用方針

取得データ① 守谷市民生活 総合支援アプリ「Morinfo」

▼市民生活総合支援アプリ「Morinfo」の仕様

項目	内容
提供形式	スマートフォンアプリ (ios, android対応)、Web版
機能	・市民側からの投稿機能 ・ごみカレンダー等市政情報 ・GI施策イベントページ(随時)
特徴	・ページ追加、改変が容易

取得データ② 行動評価にか かる基礎情報 の構築: 民間の スマホ位置情 報データ活用

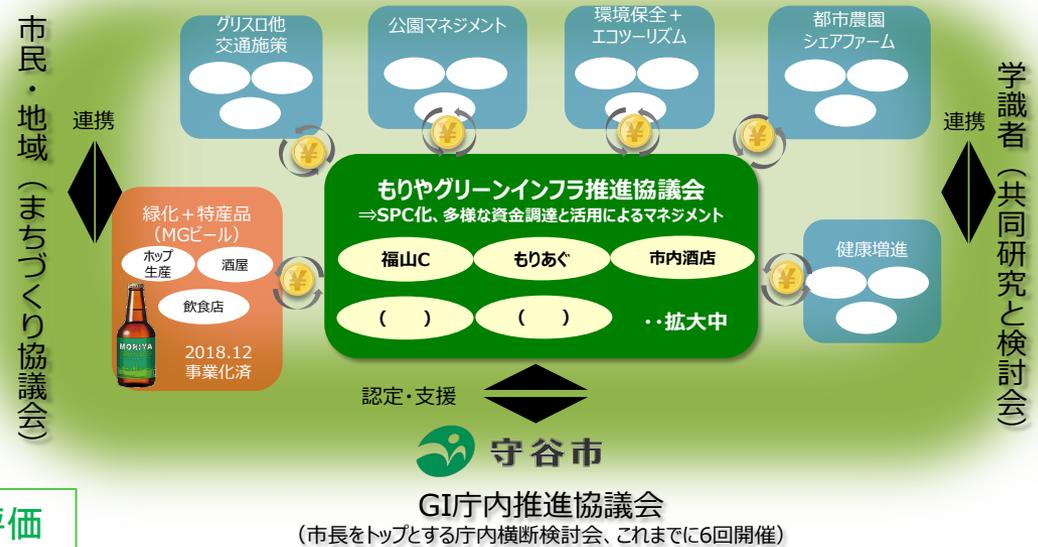
▼ログウォッチャーデータのデータ仕様

項目	内容
取得情報	GPS・wifiによる緯度経度 居住地・従業地
取得方法	民間事業者アプリへのSDK 実装による取得
取得ピッチ	約5分～15分
サンプル数	2000万MAU/全国

⇒①と②のデータ連携によりモデル事業の検討・評価

■ 運営体制

多主体が参画する【もりやGI 協議会】を中心とし、各施策を収益事業化しながら、持続的なマネジメントが可能な体制を目指して展開。



■ スケジュール

STEP 0 : これまでの取り組み

STEP 1 : 計画立案
◎本公募

STEP 2 : 事業化段階
2020～2023 年度

STEP 3 : マネジメント段階
2023年度～(STEP 2と並行)

- ◆Moriya グリーン&スマートシティ全体計画立案 (各施策の計画の具体化と全体像の整理)
- ◆一部の実証実験・先行事業の実施
- ◆データ評価試行 (「Morinfo」取得データと、(株)ログウォッチャーが保有する位置情報データ)

…全体計画と2019年試行にもとづき、優先順位を付けて順次事業化

…事業の拡大に伴うコンソーシアムの拡大とマネジメント体制強化 (組織体制の強化(SPC)、多様な資金調達と活用、地域通貨の活用)

もりやグリーンインフラ推進協議会(守谷市)

GIを中心としたスマートシティのアーキテクチャ(※前頁データ利活用方針の補足)

- アプリを通じた市民の声と位置情報データをデジタル空間側で連携
- 都市・モビリティ・GI(公園や緑化空間)等のフィジカル空間の最適化マネジメントを可能に
- GIを中心とした都市生活の充実が民間サービスの創出を促進するサイクルを作る →都市の課題解決と価値向上

